

# 昌子の広場

## 第53報新春号

### 小林昌子議会報告

#### 和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



**互助会やミ退職金廃止  
相次ぐ駆け込み退職  
連合町会から議会へ質問状**

#### 目次

・年の初めに	P1
・互助会やミ退職金廃止	P2
・連合町会から議会へ質問状	P3
・住基ネット、昌子の広場	P4

今年も副議長として、開かれた議会を目指し  
今までも増して市民の皆様の視点に立って議員活動を行います



**新年のご挨拶** 後援会長 見辺博夫

平成十八年明るく新年を迎え、皆様と共に慶賀に堪えません。常に心にかかりながら、事務局や当人任せで後援会長として誠に申し訳なく存じております。

平素からの皆様の御厚情によりまして、小林議員も副議長の大役を仰せつかれ日々奮闘されていきます。「住んで良かった和泉市」を合い言葉に、常に若く逞しく、情熱を秘め、各般にわたり一層頑張っていたく所存であります。

今後とも皆様の御支援を頂き、御期待に背かず思う存分皆様の為に尽くす覚悟でありますので、一層の御支援をお願い申し上げます。

先ずは新年の御祝辞を申し述べ、併せて皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。

**新年を迎えて** 小林昌子

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も引き続き宜しくお願いいたします。

昨年は景気に一定の回復が見られるなど、ここ数年続いてきた鬱積した気分が、少しは良くなってきたように思います。改革を掲げた小泉自民党が圧勝し、郵政民営化が決まるなど世の中の改革の名の下に大きく動きつつあります。一方では戦争を放棄した憲法九条の改訂が相上りのばり、自衛隊を軍として認めようとする等反作用も出てきています。

又年末にかけて子ども達の周りで悲しい出来事が立て続けに起こりました。事件はそれぞれ違った背景を持っているようですが、何れも世の中が尋常でないことの表れではないかと心配しています。

さて、和泉市は昨年度財政健全化計画を策定し、財政再建に向けた諸施策を実施中です。既に幼稚園の保育料や各種料金の値上げで市民生活に影響が出ています。そのような中で和泉府中駅前再開発、泉州東部農用地整備事業等これからの和泉市財政の足を引っ張る可能性のある事業が目白押しです。本当に必要な事業なのか再精査し、市民の皆様に理解を得ないと財政再建など到底おぼつきません。

一方私の懸案である榎尾川ダム計画の見直しは残念ながら進展は見えません。大阪府では淀川水系のダムの中止や規模縮小の動きがあり、直近では永源寺第二ダムの違法判決など全国的なダム見直しの機運は続いています。榎尾川ダムの平成20年着工まであまり時間はありません。何とか運動を盛り上げたいと考えています。

本年が皆様にとって幸多い年となりますようお祈り致します。

ご意見をお寄せ下さい  
皆様の貴重な意見が和泉市を変えます



# ヤミ退職金廃止！進むか互助会改革

11月末でヤミ退職金が廃止されました。職員には会費相当分が返還され、自治体には職員へ返還した残りの積立金が返還されます。既に退職した職員が受け取ったヤミ退職金に比べ今回職員に返還される清算金は1/2～1/4程度しかなく、多くの職員の方が不満をお持ちと思います。(下表参照)

在会年数	個人給付(単位円)			全体
	20年	30年	40年	
退会経別金	102,000	117,000	118,000	
退会給付金	1,910,000	4,363,000	5,102,000	
生業資金		419,000	2,132,000	
生業資金付加金		176,000	896,000	
合計(a)	2,012,000	5,075,000	8,248,000	1,700億円
清算金(b)	910,000	1,640,000	2,238,000	600億円

何故このような事になったのでしょうか？

今回の清算金は職員の方々の掛金相当分とされています。ヤミ退職金制度はこの中に公費が投入されている事が問題となって廃止されるもので、当然の帰結として返還されるのは公費を除く掛金分のみになります。

## 残りの公費分はどこに行ったか

本来互助会は退会時の給付に備え、それに見合う積立金所謂準備金(1700億円)を保有していなければなりません。そうでないと何か不測の事態が起こったときに(今回のような制度廃止など)支給が出来ないからです。ところが互助会が保有していた積立金は僅か700億円しかありませんでした。1000億円も不足でした。

その結果職員への清算金は上の表のように全体で600億円、自治体に返還されるのは僅かに100億円しかありません。不足の1000億円は既に退会した人に大盤振る舞いで給付していたからです。これは予定していた金利の大幅低下や、自治体からの補給金の削減に十分対応しないで従来レベルで給付を続けていた互助会の放漫経営の帰結です。

市民オンブズ和泉は市への返還が不当に低く抑えられているとして、住民監査請求を準備しています。

## 公務員倫理はどこに！相次ぐ駆け込み退職 これによる公費負担は2億5千万円(和泉市全体で)

ヤミ退職金廃止の影響を避けるため11月末に駆け込み退職した人が和泉市で18人いました。

その内訳は部長職1名、課長職1名、課長補佐職1名以上3名が管理職です。残り15名は一般職で、係長3名、一般2名、保育士9名、用務員1名となっています。職務倫理等その範となるべき管理職が3名含まれていました。誠に残念です。

これらの人の退職の扱い(退職金支給の扱い)は、既に今年度末に勧奨退職が決まっていた14名についてはそのまま前倒して勧奨退職扱いで、退職金等優遇措置が受けられます。その他の4名は自己都合退職扱いで通常の処理です。

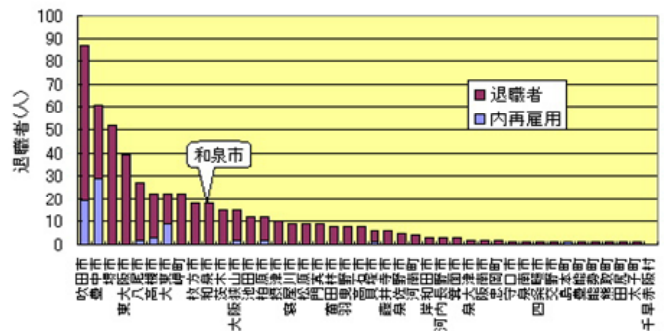
問題は勧奨退職扱いの14名です。市の説明では勧奨退職には期限が決められていないので、今回の11月末の退職もその扱いになるとの説明ですが、自分の都合で早期に退職する人を、既に名乗りを上げていたという理由で退職金等を優遇する勧奨退職扱いにすることが市民に理解されるとは到底思われません。損得勘定で自らの職を放棄した人に、優遇措置など一切必要がないというのが普通の市民の感覚です。職員に甘い市の体質が露呈したものです。

更に和泉市ではありませんが、駆け込み退職した人を再雇用して同じ仕事に就いている人が、多数いることがわかりました。これはまさしく逃げ得で、このような不心得な人が市民サービスをま

ともに行えるのか極めて疑問で、毅然たる態度がとれない自治体も情けない限りです。



駆け込み退職者



## 進むか互助会改革？

今回ヤミ退職金を廃止しましたが、その他の給付に首を傾げるような給付が残っています。自治体独自の厚生会等の給付とのダブリもあります。その他給付の改革は今後検討することとしていますが、抜本的な改革が進むか否か十分見ていく必要があります。

互助会に決算関係書類の提示を求めましたが、拒否しました。岩室理事長は「制度・事業の透明性を確保すると共に、これらの情報を積極的に開示すること」と述べていますが、事実上全く相反する対応です。こんな事で互助会改革が進むのか極めて疑問です。



# 議会へ質問状(連合町会から)

連合町会から議会へ質問状が提出されました。

質問の趣旨は

- 今回の人事院勧告に伴う報酬の改定について
- 議員定数の問題について
- 議員報酬等の問題について

12月議会で問題となった補助金の不適切な運用について等であります。

現在各会派で対応をとりまとめ、その後議会としての考えを整理し、連合町会へ回答することになりますが、質問の内容や背景及び私の考えをお伝えします。

## 人事院勧告に伴う報酬の改定について

今回の報酬改定は国家公務員に対する今夏の人事院勧告に準じて、職員の報酬を改訂するもので、月次報酬0.3%引き下げ、配偶者手当の500円引き下げ、一方期末手当を年間0.05月分引き上げとするものです。

議員を含む特別職も従来の慣行に従うと、期末手当の引き上げが行われます。月次の報酬の引き下げはなく、期末手当のみ増額するのは従来の慣行とはいえ、市民に納得されるものではありません。当初はこの引き上げを見送る考えでしたが、各派との調整の結果、今回は見送り、H18年より従来慣行通り増額する案に落ち着いた経緯があります。

この決着については中途半端のそしりを免れませんので、今年の支給時にこの増額を凍結する事が可能か否かを検討すべきと考えます。

更に今回の動議による修正のやり方について、一部議員から問題の指摘があります。過去和泉市では動議により修正したことは今回が二度目のようですが、私は大いに結構では無いかと考えています。今まで一度しかなかった事が寧ろ不正常で、行政と議会の馴れ合いを象徴するものではないかと考えます。

## 議員定数及び議員報酬の問題について

多くの自治体で財政上の問題から議員定数を削減する動きが見られます。しかし私は議員定数は削減すべきではないと考えています。定数を削減すると、市政刷新を志す新たな議員の誕生にハードルが高くなり、ひいては多様な意見を代表することが困難になる為です。

又大阪府内各市の議員定数を見ると和泉市は決して多くはありません。議員一人当たりの人口で比べると府内で13位、人口一人当たり議員にかかっている費用は12位と何れも上位の位置にあります。(右表参照)

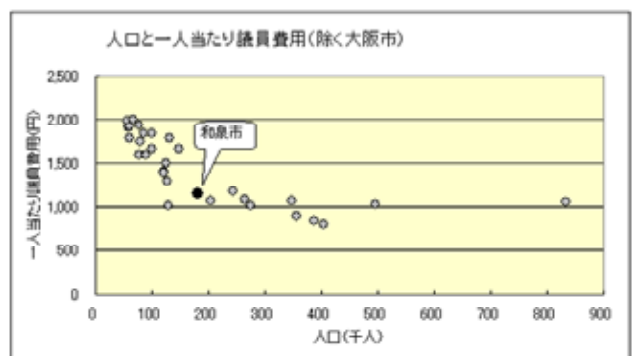
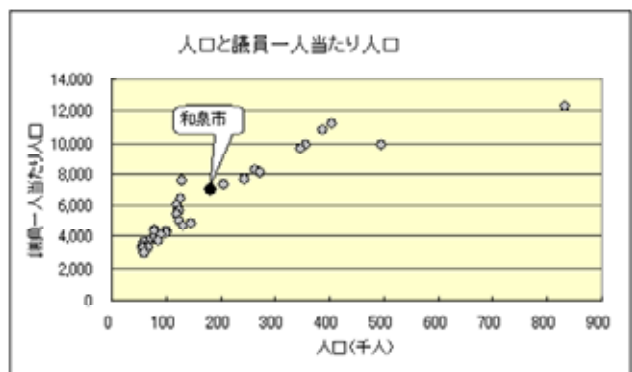
議員にかかる費用を削減するには、定数削減ではなく議員報酬の削減で対応すべきと考えます。

## 補助金の不適切な運用について

福祉施設M作業所の補助金について、申請時には施設規模等からAランクとして申請し、それに見合う国、府、市の補助金をまとめて和泉市が支給しました。

ところが利用人数等の実績が申請に満たず、その結果B

順位	自治体名	議員数	人口(千人)	議員一人当たりの人口	議員報酬/月(千円)	政務調査費/年(千円)	人口当り費用/年(円)
1	大阪市	89	2,503	25,123	970	7,200	670
2	堺市	69	604	12,264	700	3,600	1,057
3	枚方市	36	404	11,222	669	960	801
4	豊中市	36	398	10,777	690	840	835
5	東大阪市	50	496	9,920	650	2,400	1,029
6	高槻市	36	356	9,888	660	840	886
7	吹田市	36	347	9,638	747	1,320	1,067
8	茨木市	32	264	8,250	665	960	1,084
9	八尾市	34	274	8,058	610	840	1,013
10	寝屋川市	32	244	7,625	665	960	1,172
11	大東市	17	129	7,588	565	960	1,020
12	岸和田市	28	205	7,321	600	600	1,065
13	和泉市	26	191	6,961	600	840	1,155
14	松原市	20	120	6,400	607	1,020	1,298
15	羽曳野市	20	120	6,000	582	1,440	1,404
16	富田林市	22	125	5,681	610	1,200	1,500
17	河内長野市	22	120	5,454	570	720	1,386
18	箕面市	25	125	5,000	579	540	1,498
19	守口市	30	147	4,900	620	720	1,665
20	門真市	29	132	4,714	640	720	1,782
21	交野市	18	90	4,444	570	900	1,742
22	泉佐野市	23	101	4,391	550	720	1,667
23	泉大津市	18	78	4,333	550	300	1,592
24	池田市	24	100	4,166	558	960	1,837
25	貝塚市	22	90	4,090	525	240	1,599
26	柏原市	20	77	3,850	550	840	1,932
27	摂津市	23	85	3,695	535	360	1,835
28	藤井寺市	18	66	3,666	550	720	1,996
29	高石市	17	61	3,588	520	180	1,789
30	西泉町	17	57	3,352	514	480	1,983
31	泉南市	20	66	3,300	500	600	2,000
32	大阪狭山市	19	58	3,222	475	420	1,899
33	阪南市	20	60	3,000	460	240	1,920



ランクの評価となり国、府からはそれに対応する補助金しか市に入りませんでした。市はその差額440万円を施設に返還請求すべきところ、総合的判断からAランク相当と判断し返還を請求していない。この判断の根拠も曖昧で、基準に照らして厳格に対応すべきであり、市は早期に施設に対し返還を請求すべきと考えます。

## 判決迫る住基ネット裁判(関西訴訟)

私が原告の一員となっています住基ネットの関西訴訟の判決が2月大阪地裁であります。金沢裁判で違法の判決が出るなど、全国で裁判が起こされています。

昨年は地方自治体の住基ネット管理者の証言があり、自治体のセキュリティーの問題が明らかになりました。金沢判決に続き画期的な裁判所の判断を期待しています。

## 住基カードと公的個人認証のその後

引き続き住基カードと公的個人認証についてその後の状況を報告します。2年半経過しても住基カードは590枚(計画の僅か10%)、公的個人認証に至ってはたった91件。住基カードは市民の僅か0.3%しか普及していません。もともと市民にとって是非とも必要なシステムではなかったのです。この住基システム約5千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて毎年約500万円がかかっています。何のための住基ネットなのでしょう。



	カード交付枚数	公的個人認証
H15年度	140	12
H16年度	260	63
H17.4	30	2
H17.5	23	3
H17.6	21	3
H17.7	14	1
H17.8	32	2
H17.9	8	1
H17.10	24	3
H17.11	21	0
H17.12	17	1
計	590	91

## お願い。ホームレスの方に衣類提供を!

これから寒さが本番です。テントで暮らす人に暖かい衣類が必要となります。

ご協力をお願いします。

宜しければお家まで引き取りにお伺いします。

Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。



## 昌子の日記

- 12/1 和泉中央駅会報配布、子育てサロン
- 12/2 和泉中央駅会報配布
- 12/3 ピースウォーク、「河川管理と住民参加」シンポジウム参加
- 12/4 ダム会合
- 12/5 和泉中央駅会報配布、本会議
- 12/6 民生企業委員会傍聴、中村哲氏講演会
- 12/7 産業建設委員会
- 12/8 信太山駅会報配布、総務文教委員会傍聴
- 12/9 和泉中央駅会報配布、議会運営委員会
- 12/10 「地方分権改革と公務員制度のあり方」シンポジウム参加
- 12/11 のぞみ野にパチンコ店はいらん! 協議会

- 12/12 和泉府中駅会報配布
- 12/14 北信太駅会報配布、一般質問
- 12/15 光明池駅会報配布、一般質問、女性消防クラブ
- 12/16 本会議、貝塚市遊学館へ
- 12/17 「ベアテの贈りもの」映画鑑賞、万葉講座、パチンコ協議会
- 12/18 パチンコ店反対署名活動
- 12/20 和泉中央駅会報配布、市長面談、信太学園ボランティア
- 12/21 和泉府中駅会報配布
- 12/22 介護保険運営協議会傍聴
- 12/27 会派代表者会議
- 12/28 会派内会議

### 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

### 万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)

・次回講座は3月から始まります。ご期待下さい

### ちぎり絵

・講師 西原志満子さん

・1月18日(水)13時~16時

・材料費実費 参加費無料

### パソコン講座(参加費無料)

・毎週 火、木、土曜日 14時から約2時間

・パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく。

初めてこられる方はご連絡下さい

### 市政相談会

・第2、4水曜日 20:~21:30

この時間帯で都合のよい時間にお越し下さい

## 議会短信

昨年末に終了した12月議会でも色々な議論がありました。職員の報酬改定に伴う特別職や議員の期末手当の改定問題、河川改修工事に伴う住宅損傷に対する損害賠償問題、市長の政治資金報告書への報告漏れの問題、福祉施設の補助金の不適切な運用問題等です。

又これらについて町会連合会から議会に対し質問状が提出されました(内容前述)。現在各会派で質問状への対応をまとめ、1月中には議会としての対応を決める事になっています。議会としての対応が決まりましたら、報告させていただきます。

市長の政治資金報告の問題及び福祉施設への補助金の不適正な運用は、透明な市政運営上も早期に適切な対応がなされるよう望みます。